

GREEN × EXPO2027建設現場の労働局長パトロールを行いました。

神奈川県労働局（局長 宿里 明弘）は、第99回全国安全週間（7月1日～7日）に向けて、準備期間中（6月）の取組として、6月2日、大林・大洋・京急建設共同企業体 旧上瀬谷通信施設公園（仮称）パークセンター1新築工事の建設現場を横浜西署長、建災防神奈川県支部長と合同でパトロールを実施し、外国人・高齢者の災害防止、熱中症対策について確認を行いました。

GREEN × EXPO2027の工事は、広大な敷地内に多くの建設工事が行われており、このうち公園建築物（体験学習施設、公園管理所等）の建築を行う建設現場を対象としました。

建築物の構造は、アトリウム棟（木造（CLT構造）+ RC造、S造）、管理棟（RC造）の地上1階地下なし、建築面積は3,758.61平方メートル、建築高さ12.65メートル（最高高さ）、工期は令和7年2月18日から令和8年12月28日まで。



建築中の建築物の概要の説明を受ける宿里労働局長



CLT材（木材を加工・接合して作られた建材）の説明を受ける宿里労働局長



LEDチューブライトを作業通路に配し、色分けして立入禁止や指定業者の通行可といったルールを新規入場者や外国人作業者にも容易に理解できる取組



隣接するステージから建築中の建設物を確認

建物形状に合わせた足場の設置や、LEDライトを使用した作業通路の色分け表示や大きな出入口表示による見える化、各所の段差にスロープを設置や、蛍光反射テープによる段差明示などのつまづき防止など、随所に新たな機材の導入を確認しました。



施工中の建物内部を冷却し、内部に作業スペースを確保

手のひらのAVA血管を冷却装置を体験

熱中症対策では、施工中の建物全体を冷却し、その中で木材加工を行うスペースを設ける取組や手のひらのAVA血管（動脈と静脈の切替部）を冷却する装置（流し台）の設置など、今後、各建設現場で展開されることを期待する取組を確認しました。



パトロール後の講評では、「複雑な建物形状から通常と比べ、施工方法、工法などの検討を十分に行っていることが見受けられた。無災害で完工していただくよう引き続きお願いしたい。」と取組を依頼しました。

パトロールを受け入れていただきました大林・大洋・京急建設共同企業体様ご対応ありがとうございました。